

道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務公募型プロポーザル

審査結果報告書

平成29年8月3日

道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等  
業務委託設計候補者選定委員会

道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務公募型プロポーザルについて、道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務公募型プロポーザル実施要領及び道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務委託設計者選考要領等に基づき、参加各社の技術提案書等を厳正に審査し、書類審査及び技術提案書等の評価が最も高い者と次点者を選定したので、次のとおり結果を報告します。

平成29年8月3日

道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務委託設計候補者選定委員会

委員長	吉	長	成	恭
副委員長	竹	本	峰	昭
委員	鎌	田	裕	介
委員	毛	利	洋	二
委員	竹	本	隆	文
委員	西	岡	保	典
委員	伊	藤	良	治
委員	猪	掛	公	詩

## 1. 審査結果の概要

道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務の委託業者を選定するため、平成29年6月7日に設置された『道の駅「(仮称) あきたかた」調査設計等業務委託設計候補者選定委員会』(以下「選定委員会」という。)では、本公募型プロポーザルに参加意向を表明した3者に対し、平成29年7月3日、第1次選考として書類審査を行い、第1次選考を通過した3者に選考結果通知書を送付するとともに、技術提案書等を提出するよう求めた。

平成29年8月1日、安芸高田市民文化センター2階研修室203において、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、第1次選考を通過した業者から技術提案書等の説明を受け、提案内容を8名の選定委員で評価したうえで、同日15時30分より第3回選定委員会を開催し、技術提案書等の評価が最も高い者と次点者を選定した。

### (1) 技術提案者等の審査結果

最優秀提案者 株式会社NSP設計  
次点者 株式会社車田建築設計事務所

### (2) 最優秀提案者の選定理由

第1次選考は、書類審査により設計業務実績をはじめ、配置技術者の資格や技術力、マーケティング等に関する協力者の技術力について評価を行った。

第2次選考は、業務の実施方針や課題に対する技術提案等のプレゼンテーションを受けた後、8名の委員によるヒアリングを行い、評価を行った。

結果として、第1次評価点及び第2次評価点の合計点では、3者中評価が最も高いものとなった。

## 2. 特定までの経緯

平成29年6月 7日 (水)	第1回選定委員会開催
平成29年6月12日 (月)	公告 (募集要項等公表)
平成29年6月19日 (月)	参加表明書に関する質疑書提出期限 (3者から質疑の提出があった)
平成29年6月21日 (水)	質疑への回答
平成29年6月26日 (月)	参加申込書の提出期限 (3者から参加申込書の提出があった)
平成29年7月 3日 (月)	第1次選考 (書類審査) 第2回選定委員会 (審査結果持ち回り)
平成29年7月 5日 (水)	第1次選考結果通知送付
平成29年7月 7日 (金)	現場説明
平成29年7月13日 (木)	技術提案書等に関する質疑書提出期限 (1者から質疑の提出があった)
平成29年7月14日 (金)	質疑への回答
平成29年7月24日 (月)	技術提案書等の提出期限 (3者から技術提案書等の提出があった)
平成29年8月 1日 (火)	第2次選考 (プレゼンテーション及びヒアリングの実施) 第3回選定委員会 (最優秀者等特定)

### 3. 審査講評（総評）

3者の提案はいずれも安芸高田市らしさを強調するとともに、交流拠点の核となる魅力的な提案であった。

ヒアリングでは、各提案者の業務の実施方針及び実施手法、課題に対する提案を確認するとともに、現行の産直市の課題やそれを克服する手法についてを全者の共通質問とした。

また、各委員がそれぞれの提案内容について疑問点や的確性、創造性及び実現性などについて詳細な説明を求めた。

ヒアリング後、各委員において評価項目ごとに採点した。集計の結果は、1位B者、2位C者、3位A者となった。この結果を基に、各委員に講評を求めたところ、1位のB者は、

- ・基本計画を的確に反映している。
- ・提案内容が創造性に富んでいる。
- ・提案内容がコンパクトにまとめられており、実現性が高い。
- ・技術提案内容の評価が最も高い。

という講評に加え、第1次選考と第2次選考の採点結果から、「株式会社NSP設計」を最優秀提案者に選定した。

### 4. 終わりに

本プロポーザルにご参加いただきました皆様に対し、貴重な時間と労力を費やしていただきましたことに感謝申し上げます。